

「地方独立行政法人神戸市民病院機構第2期中期目標(案)」
に対する市民意見の募集結果について

○意見募集期間 平成25年5月14日(火)～6月13日(木)までの31日間

○意見数 7件

○意見の概要及び意見に対する市の考え方

	市民意見の概要	神戸市の考え方
1	第2-1-(1)救急医療 中央市民病院においては第3次救急医療への対応を重視して頂きたいのは当然ですが、Walk-Inの初期救急患者を、3次救急でない患者だから断るといった現場の判断が生じないように、「重症患者及び重篤患者“等”への対応を常時確保する」と、“等”を追加して頂きたい。	第2-1-(1)救急医療において、「本市の救急医療システムの下、初期救急医療から3次救急医療まで、市民病院の役割に応じて「断らない救急」に努めること」としており、初期救急の中には「Walk-Inの初期救急患者」も含まれます。
2	第2-1-(2)小児・周産期医療 小児科医の超過重労働に対する労働環境の早急な整備、不測の事態に対する大学病院、県立こども病院等の他病院との更なる連携強化等について具体的対策を明記して頂きたい。	医師の労働環境の整備の趣旨については、第3-2-(2)働きやすい環境の整備において「勤務環境を整備するなど、意欲ある職員が働き続けられるように努めること」に含めております。 小児・周産期医療についての他病院との連携の趣旨については、第2-1-(2)小児・周産期医療において、「地域医療機関との連携及び役割分担に基づき小児・周産期医療を担う」に含めております。 なお、第2期中期目標は、平成26年度から31年度の5年間に市民病院機構が取り組むべき医療サービスや人材育成等の病院運営の方向性を示すものであり、具体的な対策については、中期目標を達成するために市民病院機構が中期計画、各年度の年度計画において定めることとなります。
3	第2-1-(3)災害医療 近い将来起こるとされている南海トラフ巨大地震による地震・津波の災害時、中央市民病院自体は大丈夫でも、阪神・淡路大震災時でも経験したアクセスの遮断が推定されます。災害発生時に病院内居る帰宅困難患者、職員に対する対応策等、具体的にどのように改善された計画で対応をされるのか、もしくは計画作成中なのを明記してください。	第2期中期目標は、平成26年度から31年度の5年間に市民病院機構が取り組むべき医療サービスや人材育成等の病院運営の方向性を示すもので、災害発生時の具体的な対応については、中期目標、中期計画ではなく、各病院において作成されている災害対応マニュアル等において定められるべきものと考えます。
4	第2-2-(1)高度医療及び専門医療の充実 全国で約460万人、予備軍として400万人いると推定されている認知症患者に対して、特に身体疾患を合併した認知症患者に対して、どのような対策をなされる計画なのかが記載されておらず、西市民病院との連携を踏まえた役割分担を明記する等、具体的な対応の記載を望みます。	ご意見の趣旨については、第2-2-(2)5疾病への対応において、「5疾病への対応は、市民の健康の重要課題であり、地域医療機関と役割を分担した上で、市民病院の機能に応じた医療を提供すること」に含めております。 なお、第2期中期目標は、平成26年度から31年度の5年間に市民病院機構が取り組むべき医療サービスや人材育成等の病院運営の方向性を示すものであり、具体的な対策については、中期目標を達成するために市民病院機構が中期計画、各年度の年度計画において定められるべきものと考えます。

	市民意見の概要	神戸市の考え方
5	<p>第2-5-(2)在宅医療への支援 退院後に在宅で急変し、患者又は家族が市民病院への入院を強く希望された場合は、“地域医療支援病院としての役割から、決して断ることなく対応する。”等という文章を追記して頂きたい。</p>	<p>ご意見の趣旨については、第2-5-(2)在宅医療への支援の中で「地域包括ケアシステム」に市民病院の機能に応じて協力して取り組み、市民病院と地域の間における診療体制やケアの連続性を重視し、市民病院を退院した患者が安心して在宅で生活を送れるよう支援すること。」に含めております。</p>
6	<p>第3-2-(2)働きやすい環境の整備 終日勤務、当直、翌日夕方まで勤務するという、勤務医の労働環境は早急に改善されなければなりません。 夜間保育を含む24時間保育、病児保育などのインフラの早急な整備が必要であり、また、夜間緊急時に呼び出される体制の改善(特に、子供のいる女性医師などにおいて)は、従来の主治医診療制からグループ診療制に変換する等の具体的な改善策を検討し、明記して頂きたいと考えます。</p>	<p>第2期中期目標は、平成26年度から31年度の5年間に市民病院機構が取り組むべき医療サービスや人材育成等の病院運営の方向性を示すものであり、ご意見の趣旨については、第3-2-(2)働きやすい環境の整備において「勤務環境を整備するなど、意欲ある職員が働き続けられるように努めること」に含めております。 市民病院機構では、現在でも子育て中の職員が働きやすい病院づくりに取り組んでいるところですが、具体的な対策については、中期目標を達成するために市民病院機構が中期計画、各年度の年度計画において定めることとなります。</p>
7	<p>第5-3 神戸医療産業都市における役割 中央市民病院を神戸クラスターの一施設と位置付け、高度専門医療機関と称するものの、実体は先端医療の後方病院となることは断じて容認できません。“安全性、倫理性を十分に配慮し、市民に高度・先進医療を提供する。”という文章を追記して頂きたい。</p>	<p>中央市民病院は、第5-3神戸医療産業都市における役割において記載のとおり、「臨床に応用される段階になった医療については、安全性と倫理性への十分な配慮の下に逸早く市民に提供していくこと」としております。</p>